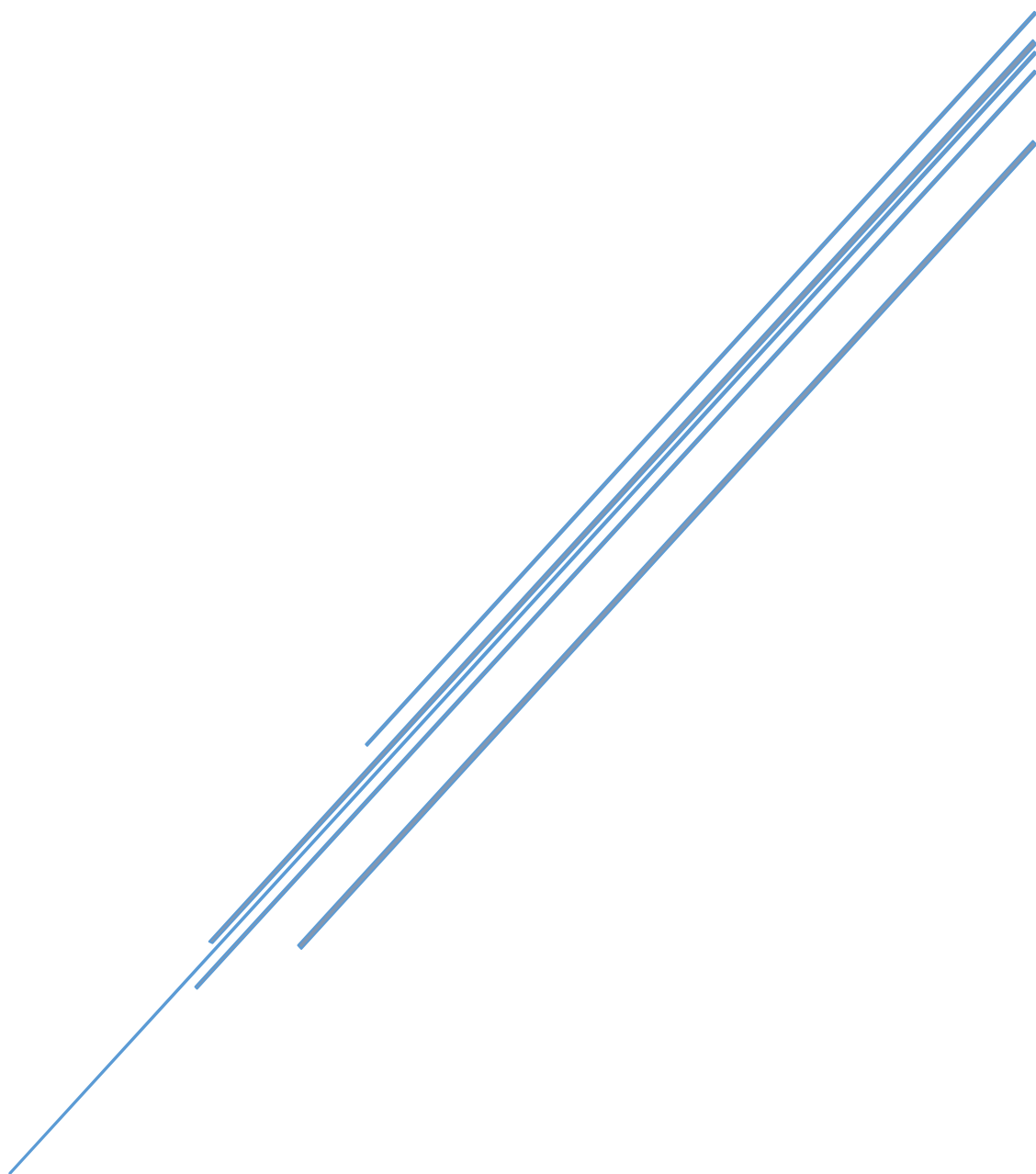


PHOTO SCAN SYSTEM

操作説明書

(PSS Ver3. 3 以上)



はじめに

本書では、PHOTO SCAN SYSTEM(以下 PSS(ピー・エス・エス)とします)の操作手順を示します。

※本書では、「OCR 台紙」をもとに操作説明を行いますが、「バーコード台紙」も同様な手順で操作できます。「OCR 台紙」と「バーコード台紙」で操作が異なる個所は、随時補足します。

※PSS を使用するには、写真台紙ごとにフォーマットが必要となります。

目次

1. 機能概要	1
2. 制限事項	1
3. 動作環境	1
4. インストール手順と起動方法	2
4.1. インストール手順	2
4.2. 起動方法	3
4.3. アンインストールの手順	4
5. 画面構成	5
5.1. メニュー画面	5
5.2. 確認画面	6
5.3. 読み取りエラー画面	7
6. 操作説明	8
6.1. 準備	8
6.1.1. 【準備1】スキャナを選択する	8
6.1.2. 【準備2】ファイル保存先フォルダを選択（変更）する	10
6.2. 操作	11
6.2.1. 写真ファイル化の作業フロー	11
6.2.2. 【操作1】写真台紙のスキャンと認識を行う	12
6.2.3. 【操作2】確認作業（認識に成功した写真台紙の写真のファイル化）を行う	14
6.2.4. 【操作2補足】顔写真のトリミング方法	15
6.2.5. 【操作3】読み取りエラー作業（認識に失敗した写真台紙の写真のファイル化）を行う	17
7. 写真台紙について	18
7.1. OCRで処理できる写真台紙	18
7.2. バーコードで処理できる写真台紙	19
7.3. 必要なディスク容量	20
8. 納品物	21

1. 機能概要

PSS の機能を以下に示します。

- ・写真台紙の写真をすばやくファイル化(JPEG)できます。
- ・各種写真台紙(学生証用、社員証等)を連続カラーキャンニングします。
- ・活字または手書きされた番号(受験番号、社員番号等)を自動的に文字認識(OCR)します。【OCR 台紙】
- ・バーコードで記録された番号(受験番号、社員番号等)を自動認識します。【バーコード台紙】
- ・文字認識結果および写真サイズ、明るさ、傾きはパソコンで修正できます。

2. 制限事項

- ・PSS 使用中は、他のアプリケーションにて、クリップボードは使用しないでください。
- ・PSS で処理を行うことができる写真台紙のサイズなどについては、「7.写真台紙について」をご覧ください。
- ・ソフトウェアのインストールには管理者権限が必要です。
- ・ソフトウェアは1ライセンスにつき PSS 用 HASP(ライセンスキー)が1個必要になります。
HASP は PC の USB ポートに挿入してご使用下さい。

HASP(ライセンスキー)



3. 動作環境

《対応 OS》

Microsoft Windows 8.1 Professional (64bit)、Microsoft Windows 10 Professional (64bit)
Microsoft Windows 11 Professional (64bit)

《画面サイズ》

1280×768 以上

《推奨機種》

CPU: Intel CORE i シリーズ以上

メモリ: 4GB 以上

HDD: ※必要なディスク容量は、写真台紙によって異なります。詳細は「7.2.必要なディスク容量」をご覧ください。

《スキャナ》

富士通製 fi-8170 又は fi-8150

《OCR 認識》

Panasonic 社製

《バーコード認識》

Panasonic 社製

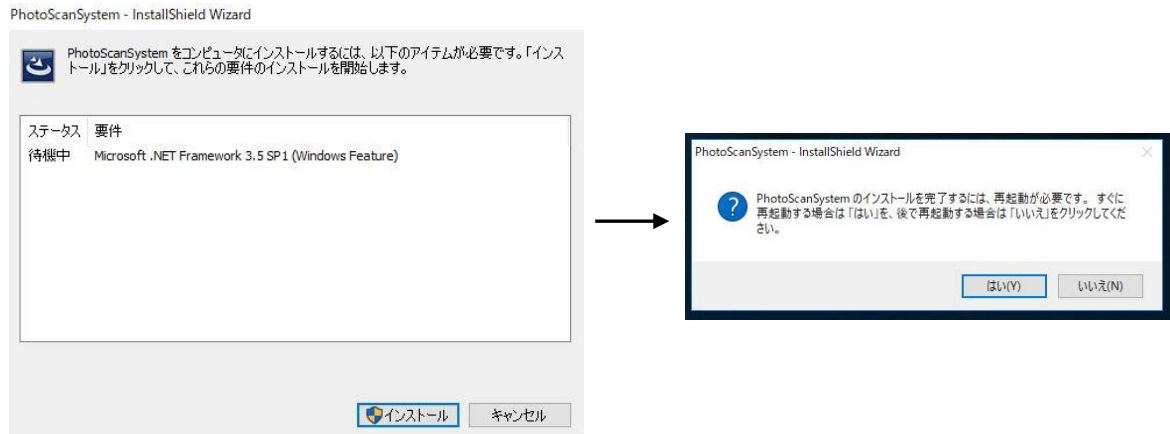
4. インストール手順と起動方法

4.1. インストール手順

*** インストールは管理者権限で行う必要があります。**

(1) PSS をインストールします。CD 内 bin¥disk1 の setup.exe を実行してください。インストーラーが起動しますので画面の指示にしたがってインストールを行ってください。

* .NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)の最新版がインストールされていない場合は最初に Microsoft .NET Framework3.5SP1(Windows Feature)がインストールされます。



インストール終了後は再起動が必要になります。

NET Framework 3.5(.NET 2.0および3.0を含む)がインストールされている場合

デフォルトのインストール先は「C:¥Program Files (x86)¥Systems Intelligence Products¥PhotoScanSystem」となります。

OSが32bitのインストール先は「C:¥Program Files¥Systems Intelligence Products¥PhotoScanSystem」

インストール先を任意の場所に変更した場合、OSによってはインストール後にインストールしたフォルダに対して権限の設定などの処理が必要となる場合があります。

この場合は各OSの設定にしたがって処理してください。



インストール終了までには数分かかる場合があります。

- (2) PSSのインストールが完了しましたら、次にHASPドライバーをインストールします。
CD内bin¥disk1¥Sentinel_LDK_Run-time_setup¥HASPUserSetup.exeを実行してください。
インストーラーが起動しますので画面の指示にしたがってインストールを行ってください。



- (2) PSSのインストールが完了すると、デスクトップにPSS+のショートカット(図 4-1)が作成されます。
(3) 同梱しています PSS 用 HASP を PC の USB ポートに挿入してください。
(4) 以上でインストール完了です。

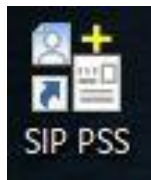


図 4-1:「PSS」のショートカット

4. 2. 起動方法

PSS のショートカットをクリックしてください。「メニュー画面」(5.1 を参照)が表示されます。

《補足》

- ・HASP が挿入されていないと図 4-2 に示すようなメッセージが表示されます。HASP を PC の USB ポートに挿入してください。



図 4-2 : HASPに関するメッセージ

・写真の保存先を変更する場合は「6.1.2【準備 2】ファイル保存先フォルダを選択する」の説明にしたがって変更してください。

* PSS を再インストールする場合は「4.3.アンインストールの手順」に従って、一度アンインストール後に再インストールする必要があります。

4.3. アンインストールの手順

アンインストールは、「アプリケーションの追加と削除」ダイアログにて行います。

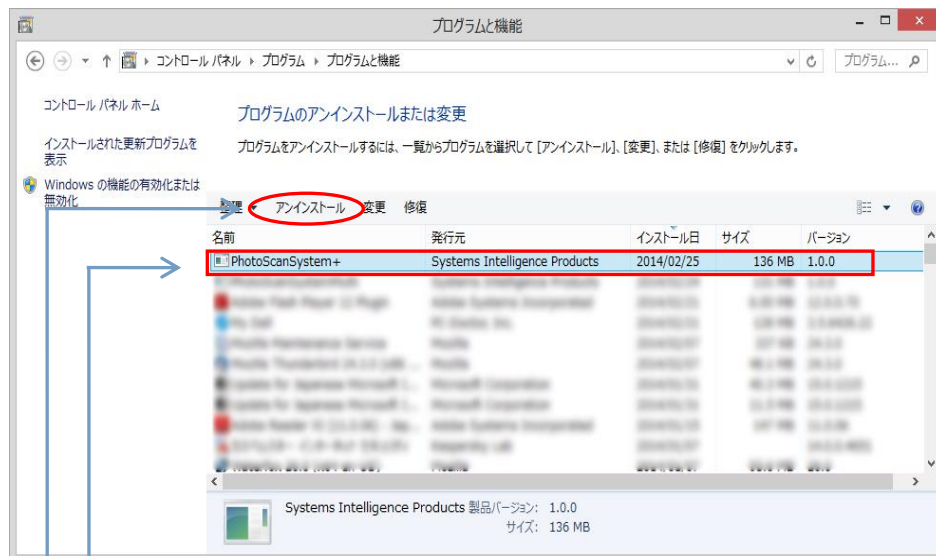
※「アプリケーションの追加と削除」ダイアログは、

Windows の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」
という選択で表示できます。

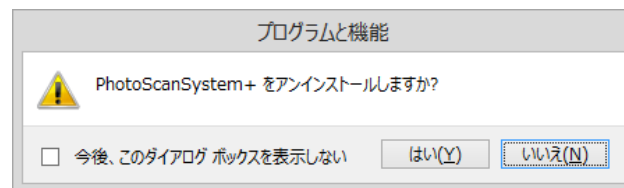
「アプリケーションの追加と削除」ダイアログで、「PhotoScanSystem」を選択し、「アンインストール」 ボタンをクリックしてください。

HASP は、Sentinel Runtime を選択して下さい。

以下、画面の指示に従って、プログラムを削除してください。



「PhotoScanSystem」を選択し、アンインストールします。



プログラムの削除が終わりましたら、PSSの作業フォルダが残っていますので以下を手動で削除してください。

- ・Windows 7の場合:「ライブラリ」→「ドキュメント」の中の「PhotoScanSystemWork」
- ・Windows 8/8.1/10の場合:「PC」→「ドキュメント」の中の「PhotoScanSystemWork」

5. 画面構成

PSS の画面構成を説明します。

5.1. メニュー画面

《機能》

- ・写真台紙のスキャンを行います。
- ・写真台紙の認識を行います。
- ・プログラムを起動すると、まず、本画面が表示されます。

図 5-1:メニュー画面

《画面の構成》

No	項目名	項目の種類	機能
1	ファイル	メニュー	・[ファイル]→[スキャン→認識]を選択 ⇒「スキャン→認識」ボタン押下時と同様 ・[ファイル]→[認識]を選択 ⇒「認識」ボタン押下時と同様 ・[ファイル]→[読み取りエラー]を選択 ⇒「読み取りエラー」ボタン押下時と同様 ・[ファイル]→[スキナの選択]を選択 ⇒「スキナ選択画面」を表示し、使用するスキナを選択する ・[ファイル]→[保存先と項目の設定]を選択 ⇒「フォルダの参照画面」を開き、ファイル保存先フォルダを選択する
4	スキャン→認識	ボタン	ボタンを押下すると、写真台紙のスキャンと認識とを連続して行う。
5	スキャン完了時、枚数チェックを行う ※「スキャン→認識」ボタン下	チェックボックス	チェックONの場合、「スキャン→認識」ボタン押下で、スキャン完了後、「スキャン枚数の確認メッセージ」を表示する。
6	スキャン	ボタン	ボタンを押下すると、写真台紙のスキャンを行う。
7	認識	ボタン	ボタンを押下すると、写真台紙の認識を行う。
8	スキャン完了時、枚数チェックを行う ※「スキャン」ボタン下	チェックボックス	チェックONの場合、「スキャン」ボタン押下で、スキャン完了後、「スキャン枚数の確認メッセージ」を表示する。
9	確認	ボタン	ボタンを押下すると、確認画面を表示する。
10	読み取りエラー	ボタン	ボタンを押下すると、読み取りエラー画面を表示する。
11	スキャン完了(枚数)	表示項目	スキャンまで完了した写真台紙の枚数を表示する。
12	認識完了(枚数)	表示項目	認識に成功した写真台紙の枚数を表示する。
13	読み取りエラー(枚数)	表示項目	読み取りエラーとなった(認識に失敗した)写真台紙の枚数を表示する。
14	終了	ボタン	ボタンを押下すると、プログラムを終了する。

5. 2. 確認画面

《機能》

- ・認識に成功した写真台紙の写真をファイル化します。
- ・本画面は、「メニュー画面」の「確認」ボタン押下で表示されます。



図 5-2: 確認画面

《画面の構成》

No	項目名	項目の種類	機能
1	写真台紙画像	表示項目	写真台紙の画像を表示する。
2	番号画像	表示項目	写真台紙の番号の画像を表示する。
3	番号入力欄	編集項目	写真台紙の番号を認識した結果を表示する。 認識内容に誤りがある場合、手修正する。
4	写真画像	表示項目	「写真取り込み枠」でトリミングした結果を表示する。
5	取り込み範囲	スクロールバー	「写真取り込み枠」の大きさを設定する。
6	かたむき調整	スクロールバー	「写真画像」画像のかたむきを設定する。
7	明るさ調整	スクロールバー	「写真画像」画像の明るさを調整する。
8	戻る	ボタン	前の写真台紙画像を表示する。
9	進む	ボタン	次の写真台紙画像を表示する。
10	破棄	ボタン	表示中の写真台紙画像を、破棄する。
11	印刷して破棄	ボタン	表示中の写真台紙画像を、印刷して破棄する。
12	保存	ボタン	表示中の写真台紙画像のOCR結果を保存する。
13	中止	ボタン	ボタンを押下すると、本画面を閉じ、メニュー画面を表示する。
14	確定	ボタン	表示中の写真台紙のOCR結果を確定する。
15	1/1 枚	表示項目	現在表示中の写真台紙と残りの写真台紙の数を表示する。

5.3. 読み取りエラー画面

《機能》

- ・読み取りエラーとなった(認識に失敗した)写真台紙の写真をファイル化します。
- ・本画面は、「メニュー画面」の「読み取りエラー」ボタン押下で表示されます。



図 5-3: 読み取りエラー画面

《画面の構成》

No	項目名	項目の種類	機能
1	写真台紙画像	表示項目	写真台紙の画像を表示する。
2	番号画像	表示項目	写真台紙の番号の画像を表示する。
3	番号入力欄	編集項目	写真台紙の番号を認識した結果を表示する。 認識内容に誤りがある場合、手修正する。
4	写真画像	表示項目	「写真取り込み枠」でトリミングした結果を表示する。
5	取り込み範囲	スクロールバー	「写真取り込み枠」の大きさを設定する。
6	かたむき調整	スクロールバー	「写真画像」画像のかたむきを設定する。
7	明るさ調整	スクロールバー	「写真画像」画像の明るさを調整する。
8	戻る	ボタン	前の写真台紙画像を表示する。
9	進む	ボタン	次の写真台紙画像を表示する。
10	破棄	ボタン	表示中の写真台紙画像を、破棄する。
11	印刷して破棄	ボタン	表示中の写真台紙画像を、印刷して破棄する。
12	保存	ボタン	表示中の写真台紙画像のOCR結果を保存する。
13	中止	ボタン	ボタンを押下すると、本画面を閉じ、メニュー画面を表示する。
14	確定	ボタン	表示中の写真台紙のOCR結果を確定する。
15	1/1 枚	表示項目	現在表示中の写真台紙と残りの写真台紙の数を表示する。

6. 操作説明

PSS の操作説明をします。

6.1. 準備

まず、PSS で、写真ファイル化作業を行う前に必要な準備作業を説明します。

6.1.1 【準備1】スキャナを選択する

使用するスキャナを、以下の手順で選択します。

「メニュー画面」にて、「ファイル」メニュー → 「スキャナを選択」を選択してください。(図 6-1①)

「ソースの選択」ダイアログ(図 6-2)が表示されます。

リストから使用するスキャナを選択してください(図 6-2①)。

「選択」ボタンを押下してください(図 6-2②)。「メニュー画面」に、選択したスキャナの名前が表示されます。

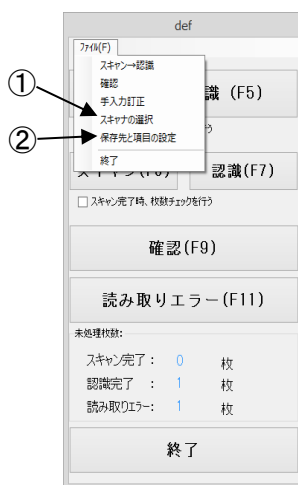


図 6-1:メニュー画面

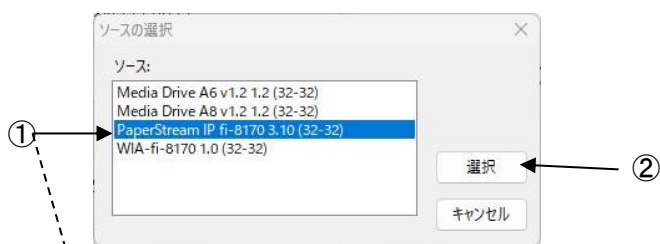


図 6-2:スキャナ選択ダイアログ

例 : fi-8170 の場合
PaperStream IP fi-8170 X.X(XX-XX)
fi-7160 の場合
PaperStream IP fi-7160 X.X(XX-XX)

* スキャナを選択後に PC の USB 接続場所(中間に USB ハブ追加・削除等を含みます)を変更するとスキャナが認識されず(図 6-3)のエラーが表示されます。

この場合は、上記の「6.1.1【準備1】スキャナを選択する」をもう一度やり直してください。

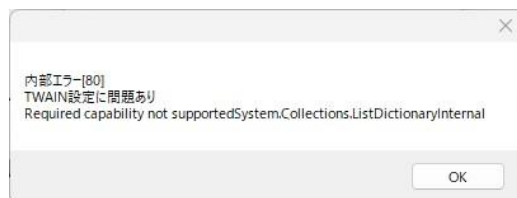
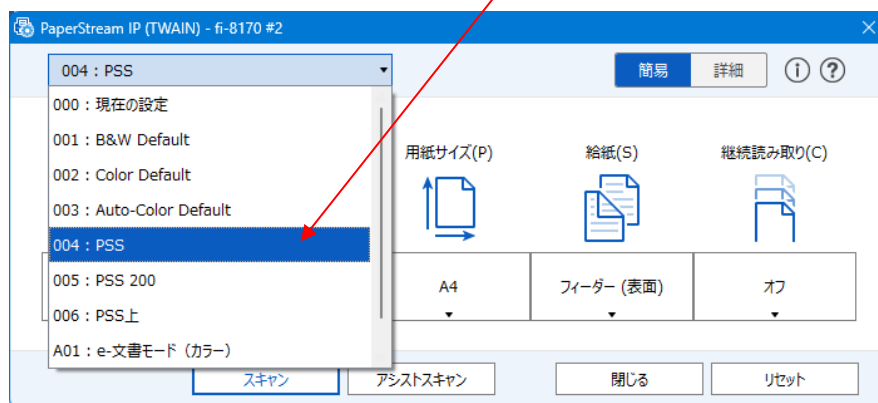


図 6-3

- ② 「Ctrl」キーを押しながら「スキャン(F6)」を押します。
- ③ スキャナダイアログ画目が表示されますので「004:PSS」を選択します。



注)ほかの用途でスキャナーの設定をされている場合は番号が異なります。

- ④「閉じる」ボタンで終了します。

これで設定終了です。

6.1.2 【準備 2】 ファイル保存先フォルダを選択（変更）する

ファイル保存先フォルダを、以下の手順で選択（変更）します。

* デフォルトでは「C:¥ **User**¥ **UserName**¥ PhotoScanSystemPlusWork¥ フォーマット設定フォルダ ¥ XXXX」に設定されています。（設置時に設定）

¥ **User**¥ **UserName** = PC および PC アカウント名

XXXX: 顔写真保存先フォルダ =「顔写真」

全体写真保存先フォルダ =「全体写真」 * オプション機能

- ・「メニュー画面」にて、「ファイル」メニュー → 「保存先と項目の設定」を選択してください。（図 6-1②）
- ・「各種保存の設定」ダイアログ（図 6-4）が表示されます。
- ・変更を行いたいフォルダの「参照」ボタンの押下を行います。（図 6-4）
- ・フォルダー一覧から「ファイル保存先フォルダ」を選択します（図 6-5①）。
- ・「OK」ボタンを押下します（図 6-5②）。「メニュー画面」の「ファイルの保存先」に、選択したフォルダのパスが表示されます。
- ・出力形式を選択します。
- ・すべての設定が完了したら図 6-4①を押下して、設定を反映させます。中断をしたい場合は図 6-4②を押下します。

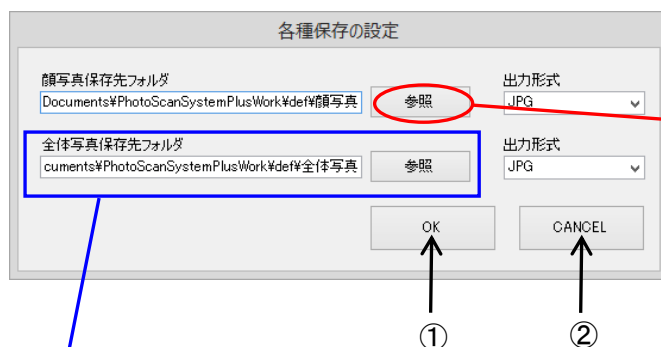


図 6-4: 各種保存の設定ダイアログ

* 台紙全体の画像保存は有償オプションとなりますのでオプションの選択をされていない場合は表示されません。



図 6-5: フォルダの選択ダイアログ

6. 2. 操作

PSSの操作手順を説明します。

6. 2. 1 写真ファイル化の作業フロー

写真ファイル化の作業フローを、図 6-4 に示します。

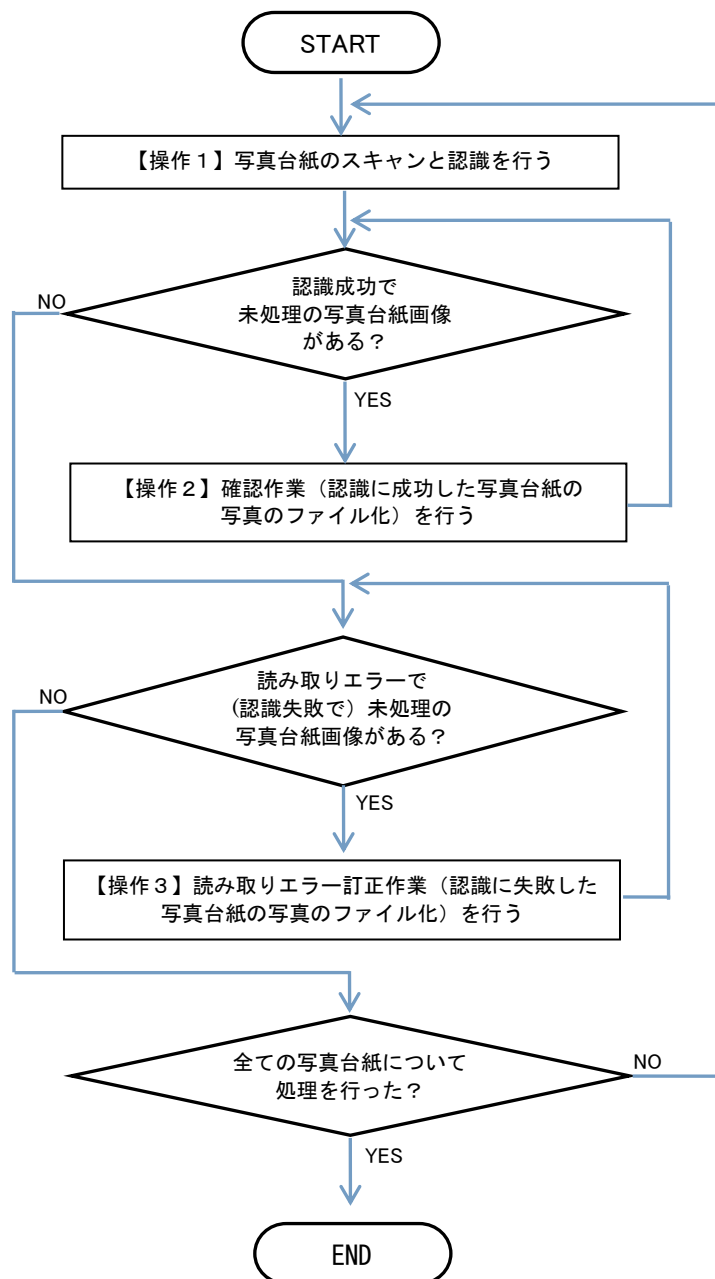


図 6-6: 写真ファイル化の作業フロー

6.2.2【操作1】写真台紙のスキャンと認識を行う

写真台紙のスキャンと認識は、以下の手順で行ってください

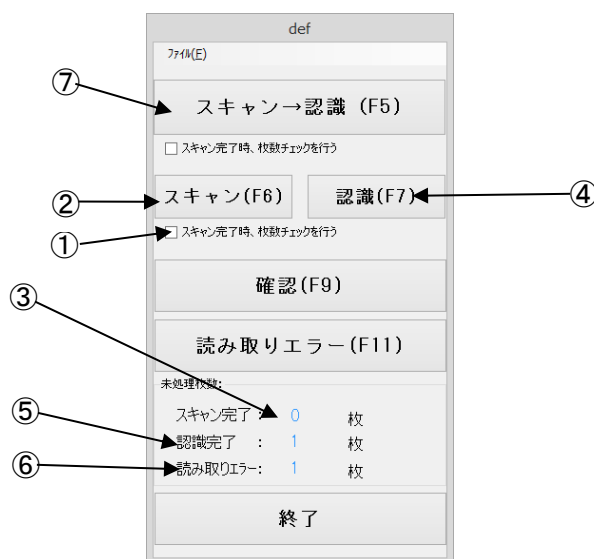


図 6-7

- 1) PSS を起動してください。「メニュー画面」(図 6-7)が表示されます。
- 2) スキャナの ADF に写真台紙をセットしてください。
- 3) チェックボックス「スキャン完了時、枚数チェックを行う」(図 6-7①)を ON にしてください。
- 4) 「スキャン」ボタン(図 6-7②)を押下してください。写真台紙のスキャンが実行されます。
- 5) スキャンが完了すると、図 6-8 のメッセージが表示されます。ADF にセットした写真台紙の枚数と、メッセージ中のスキャン枚数とが一致する場合、「はい」ボタンを押下してください。スキャン枚数が「スキャン完了」(図 6-7③)に加算されます。



図 6-8: スキャン完了時のメッセージ

※枚数が一致しない場合には、「いいえ」を押下してください。この場合はスキャンやり直しとなります。スキャナに台紙が無い場合は(図 6-9)のメッセージが出ますので台紙をセットして再試行ボタンを押下してください。キャンセルを押すとスキャンを中止してメニュー画面に戻ります。

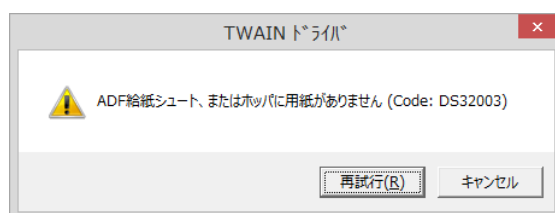
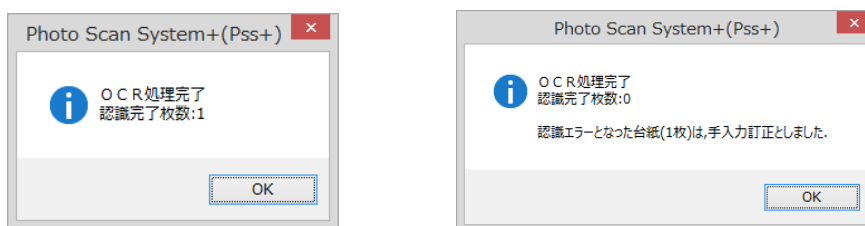


図 6-9

- 6) 「認識」ボタン(図 6-7④)を押下してください。写真台紙の認識が実行されます。
- 7) 認識が完了すると、図 6-10 のメッセージ表示されます。「OK」ボタンを押下すると、認識完了枚数が「認識完了」(図 6-7⑤)に加算されます。また、「スキャン完了」(図 6-7③)が 0 となります。
- ※認識に失敗した写真台紙の枚数は、「読み取りエラー」(図 6-7⑥)に加算されます。



(認識エラーがある場合)

図 6-10: 認識完了時のメッセージ

《補足》

- ・スキャンと認識を連続して行う場合には、「スキャン」ボタンではなく、「スキャン→認識」ボタン(図 6-7⑦)を押下してください。
- ・スキャン完了時に枚数チェックを行わない場合には、チェックボックス「スキャン完了時、枚数チェックを行う」を OFF にしてください。
- ・スキャン枚数の正確なチェックが必要な場合には、チェックボックス「スキャン完了時、枚数チェックを行う」を ON にしてください。

チェックボックス「スキャン完了時、枚数チェックを行う」を OFF にした場合、スキャナの紙詰まりなどでスキャンが中断されても、図 6-8 のようなメッセージを表示されず、それまでスキャンした写真台紙の画像は、コンピュータに取込まれます。この場合、どの写真台紙までスキャンをしたかがわからなくなることがあります。

6.2.3 【操作 2】確認作業(認識に成功した写真台紙の写真のファイル化)を行う

認識に成功した写真台紙の写真のファイル化は、以下の手順で行ってください。

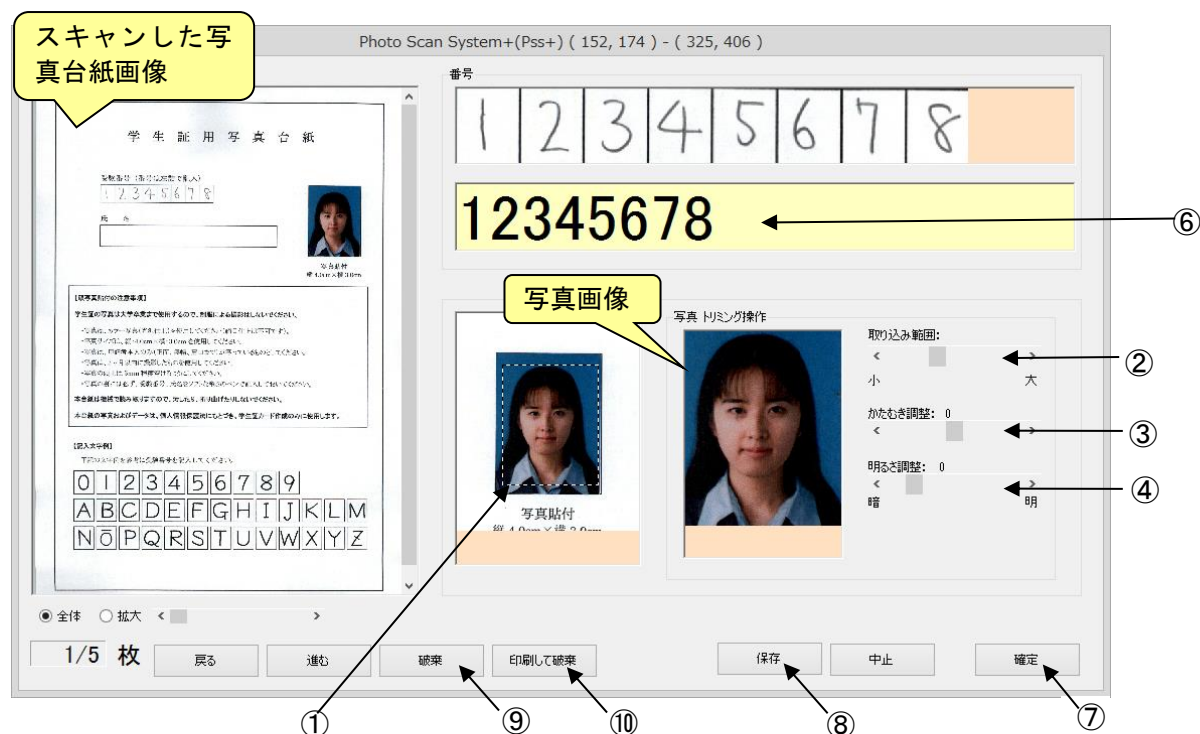


図 6-11: 確認画面

1) 図 6-1「メニュー画面」にて、「確認」ボタンを押下してください。「確認画面」(図 6-11)が表示されます。

#顔写真のトリミング

- 2) 写真画像の位置がずれている場合には、マウスで「写真取込み枠」(図 6-11①)の位置を移動してください。
- 3) 写真画像の取込み範囲を変更したい場合には、スクロールバー「取込み範囲」(図 6-11②)で調節してください。
- 4) 写真画像の傾きを微調整したい場合には、スクロールバー「かたむき調整」(図 6-11③)で調整してください。
- 5) 写真画像の明るさを調整したい場合は、スクロールバー「明るさ調整」(図 6-11④)で調整してください。

#認識番号の確認・修正

6) 認識した番号を確認し誤りがある場合には、手入力で修正してください(図 6-11⑥)。

#確定

7) 番号が正しく、写真画像の表示内容に問題がないならば、「確定」ボタン(図 6-11⑦)を押下してください。次の台紙が表示されますので 2)~6)の操作を繰り返して下さい。

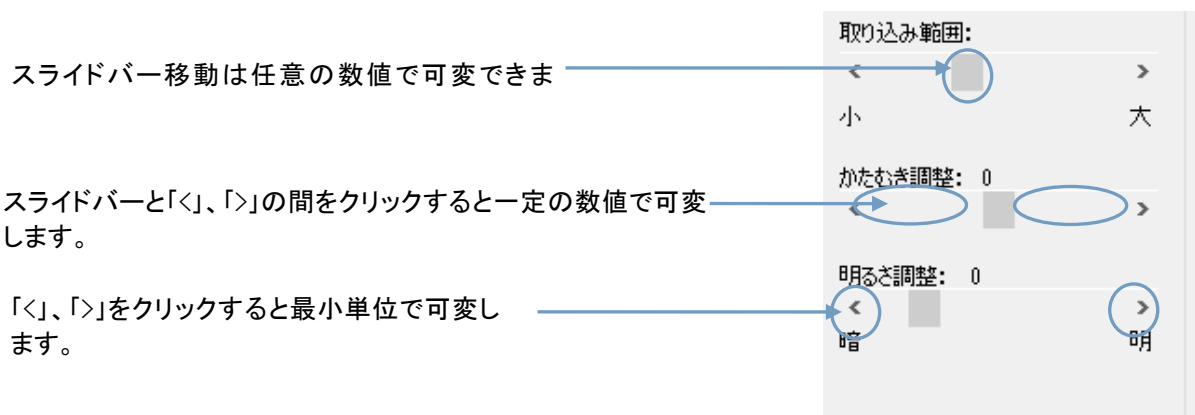
8) Tab キーの機能

マウスを使用しないで調整から確定まで行えます。

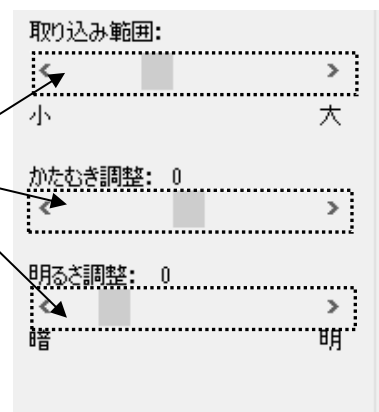
認識番号の確認・修正→写真取込み枠(矢印キーで移動)→取込み範囲(矢印キーで調整)
→かたむき調整(矢印キーで調整)→明るさ調整(矢印キーで調整) →戻る(Enter で機能)
→進む(Enter で機能)→破棄(Enter で機能)→保存(Enter で機能)→中止→確定(Enter で機能)

6.2.4 【操作2補足】顔写真のトリミング方法

顔写真のトリミングを行う方法を下記に示します。



カーソルをそれぞれのスライダーの位置に([] 内) 合せると、マウスホイールの回転に連動して動作します。



カーソルを点線枠 [] 内に置き
・マウスホイールを回転させると、枠の大きさが調整できます。
・左クリックのドラッグで枠の移動ができます。



《補足》

- ・「確定」押下時にすでにその番号が存在する場合、図 6-12 のようなメッセージが表示されます。「はい」ボタンを押下すると番号が上書き保存されます。「いいえ」ボタンを押下すると、「確認画面」に戻ります。
- ・「いいえ」の場合は次項の保存するか破棄するか処理を行います。

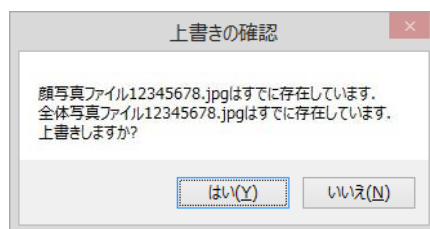


図 6-12: 番号が存在する場合のメッセージ

- ・確認画面で任意に後で処理したい写真台紙画像は、保存することができます。写真台紙を保存する場合には、「保存」ボタン(図 2-4⑧)を押下してください。
 - ・間違って取り込んだ台紙や訂正が不可な写真台紙画像を破棄する場合は、「破棄」ボタン(図 6-9⑨)を押下してください。
 - ・そのまま写真台紙画像を破棄する場合には、「破棄」ボタン(図 6-9⑨)」を、印刷して写真台紙画像を破棄する場合には「印刷して破棄(図 6-9⑩)」を押下してください。
- 「破棄」ボタンを押下すると、図 6-13 のメッセージが表示されます。

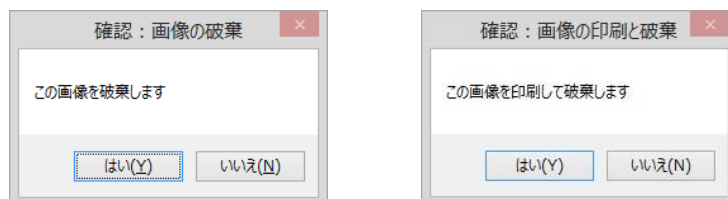


図 6-13: 破棄ボタン押下時に表示されるメッセージ

- ・「未処理(件数)」が 0 になると、「編集可能枚数が 0 となりました。」(図 6-14)と表示され、OK ボタン押下で「メニュー画面」に戻ります。

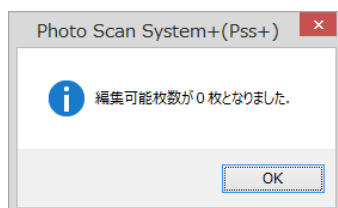


図 6-14

途中で作業をやめたい場合は「中止」ボタンを押下してください。未処理のデータは保持されたまま「メニュー画面」に戻ります。PSS ソフトは必要に応じて終了してください。

作業を再開する場合は「確認」、「読み取りエラー」ボタンより再開できます。ソフトを終了している場合は再立ち上げしてください。

6.2.5 【操作 3】読み取りエラー作業(認識に失敗した写真台紙の写真のファイル化)を行う

認識に失敗した写真台紙の写真のファイル化は、以下の手順で行ってください。



図 6-15: 読み取りエラー画面

- 1) 読み取りエラーの場合は(図 6-15①)を全て手入力修正してください。
- 2) 番号全入力以外の処理は全て前項「6.2.3.【操作 2】確認作業(認識に成功した写真台紙の写真のファイル化)を行う」と同一操作となります。

7 写真台紙について

PSSが処理できる写真台紙の条件について述べます。

7.1 OCR で処理できる写真台紙

OCR 版が処理できる写真台紙の条件を、表 7-1 に示します。

表 7-1:OCR 版が処理できる写真台紙の条件

写真台紙の構成	写真台紙には、以下の項目を必ず設けてください。 ①番号入力欄 ②写真貼付け欄 図 7-1に写真台紙の例を示します。
スキャナでスキャンする範囲	A6（縦：148mm×横：105mm）以上A4（縦：297mm×横：210mm）以下としてください。 ※スキャン範囲はできるだけ狭くしてください。スキャン範囲が狭いほど、アプリケーション処理速度が速くなります。
写真のサイズ	縦：30mm×横：24mm以上縦：60mm×横：50mm以下としてください。 ※写真は、縦：横の比率を1.25：1くらいとすると、画面で適切に表示できます。
番号	番号の桁数は、最小1桁、最大12桁です。 番号で利用できる文字は、半角英数字、「-（ハイフン）」です。 番号入力欄は、1文字ずつ枠で囲んでください。（図 7-1）

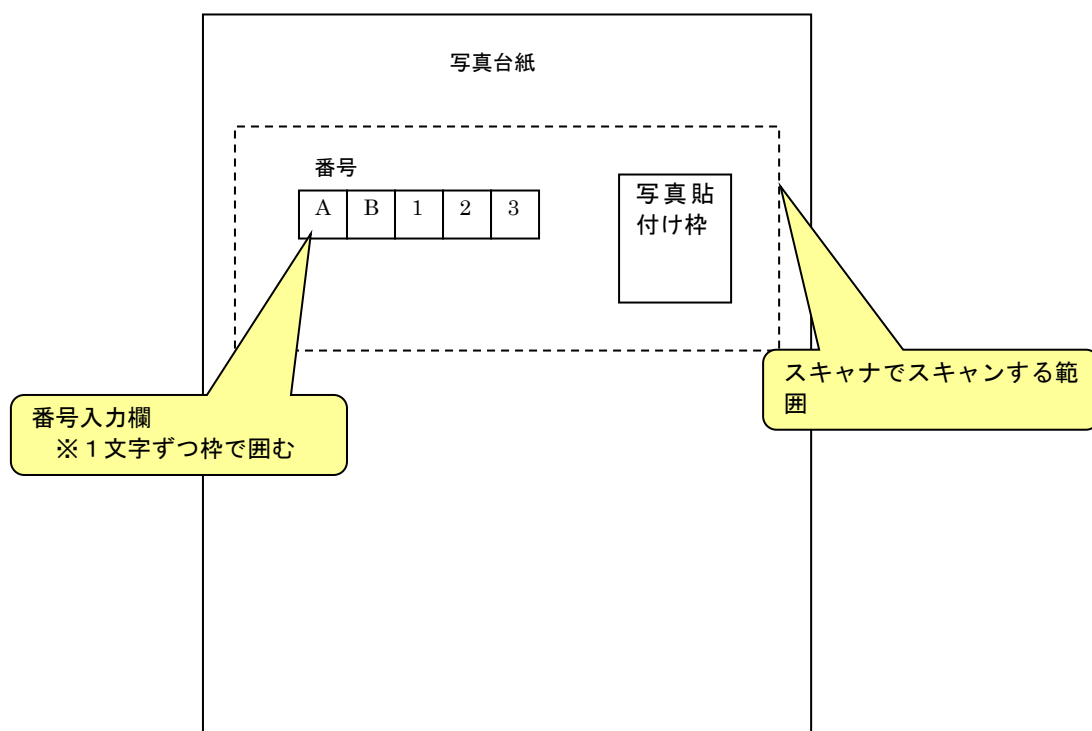


図 7-1:OCR 版が処理できる写真台紙の例

7.2 バーコードで処理できる写真台紙

バーコード版が処理できる写真台紙の条件を、表 7-2 に示します。

表 7-2: バーコード版が処理できる写真台紙の条件

写真台紙の構成	写真台紙には、以下の項目を必ず設けてください。 ①バーコード ②写真貼付け欄 ③番号(確認用) 図 7-2に写真台紙の例を示します。
スキャナでスキャンする範囲	A6 (縦: 148mm×横: 105mm) 以上A4 (縦: 297mm×横: 210mm) 以下としてください。 ※スキャン範囲はできるだけ狭くしてください。スキャン範囲が狭いほど、アプリケーション処理速度が速くなります。
写真のサイズ	縦: 30mm×横: 24mm以上縦: 60mm×横: 50mm以下としてください。 ※写真は、縦: 横の比率を1.25:1くらいとすると、画面で適切に表示できます。
バーコード	認識可能なバーコードは、NW7、Code39、Code128、JAN8、JAN13、ITFです。(ITFはベラアーバー(枠)ありに限り対応しています。) スタート/ストップキャラクタは、番号とはみなしません。 ※ファイル名で使用できない文字が含まれるバーコード(チェックデジットの結果を含む)は使用できません。 ※チェックデジットの有無は、基本的に出荷時の設定となります。 ※チェックデジットの計算自体はPss+では行わず、文字としての処理となります。 ※チェックデジットのタイプは、基本的に出荷時の設定となります。 ※台紙デザインによりバーコード外周に位置読取用枠が必要となる場合があります。
その他	番号を枠で囲むことにより、確認画面にて番号画像が適切に表示されやすくなります。

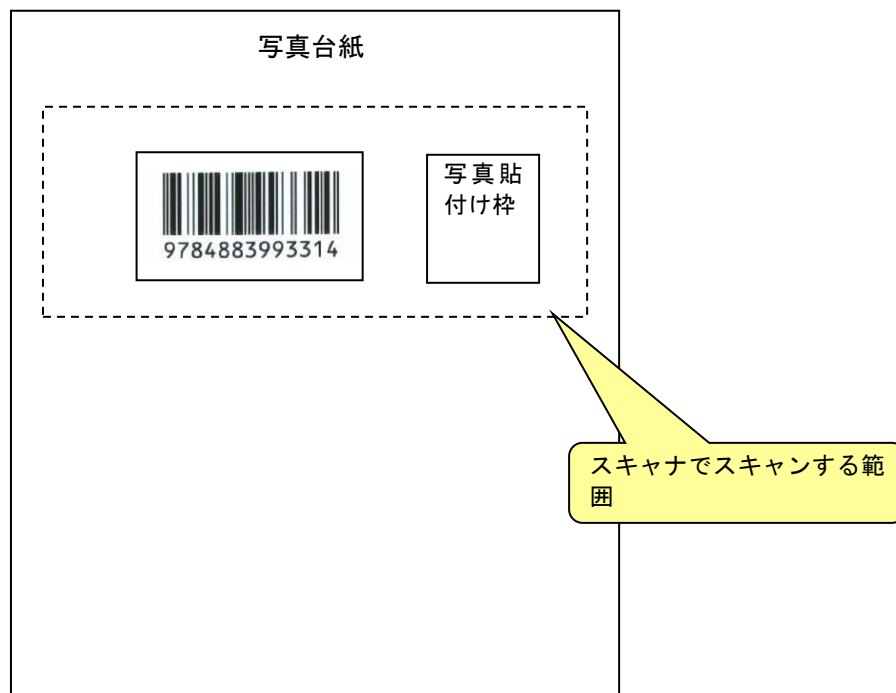


図 7-2: バーコード版が処理できる写真台紙の例

7.3 必要なディスク容量

PSS で処理を行う上で必要なディスク容量を表 7-3 に示します。
※必要なディスク容量は、OCR 版とバーコード版でほぼ同じです。

表 7-3: 必要なディスク容量

	作業領域のディスク容量 (写真台紙1枚当り)	ファイル化した写真画像のサイズ (写真台紙1枚当り)
写真台紙1	約60MB	約15KB
写真台紙2	約12MB	約15KB

- ・ 写真台紙 1、2 については、表 7-4、表 7-5 を参照。
- ・ たとえば、「写真台紙 1」を一度に 100 枚写真ファイル化する場合、作業領域のディスク容量は 6GB (60MB × 100) 必要となります。
- ・ 作業領域のディスク容量」は、「スキャナでスキャンする範囲」が広がるほど増えます。

表 7-4: 写真台紙 1 の仕様

スキャナでスキャンする範囲	縦: 297mm × 横: 210mm
写真のサイズ	縦: 60mm × 横: 50mm

表 7-5: 写真台紙 2 の仕様

スキャナでスキャンする範囲	縦: 63mm × 横: 183mm
写真のサイズ	縦: 30mm × 横: 24mm

8 納品物

1. PSSインストールDVD 1枚
2. HASP(ライセンスキー) 1個
3. 簡易操作説明書 1冊